いずみ会／旧都立大泉中学校・都立大泉高等学校同窓会

会報いずみ 第59号

発行／いずみ会　編集／いずみ会会報部
〒178-0063　東京都練馬区東大泉5-3-1 都立大泉高等学校内
事務所　東京都練馬区東大泉6-34-30 SKビル305号
ホームページ　http://www.izumikai.com/　e-Mail　izumikai@v7.com

主 な 記 事

2 ・ 3　執行部
4 ～ 6　母校関係
7～14　70周年特集「私と大泉」
16　同期会の報告・お知らせ
17　寄付者・広告提供者一覧
18　声・訃報
19　お知らせ
20　総会ご案内

いずみ会70周年

会長挨拶

いずみ会会長
髙津 幸一

昭和20年に同窓会いずみ会が創設されて70年を迎えました。我々いずみ会会員は母校「大泉」で培った多くの事を糧としてそれぞれに歩むと共に、「会員相互の親睦・母校の発展に寄与する」ようにその活動を積み重ねて参りました。母校も中高一貫校としての体制が整った今年、いずみ会の70年を振り返るとともに、気持ちを新たにし、会員の思いとその良識ある心をもって進んで参りましょう。

実行委員長挨拶

創設70周年実行委員長
石川 文武

今年は（旧制）都立大泉中学校の第一回卒業式が行われ、それと同時に結成された同窓会「いずみ会」の70歳に当たります。平成27年３月卒業生は高校67期となっており、会員総数は23,000名を超えています。このような背景から今年のいずみ会総会は従来とは異なり、70周年記念事業として執り行われることになりました。

実行委員会が準備を進めており、大まかな内容として、総会と懇親会をはっきりと切り離さず会員有志によるアトラクションを混ぜながら行う企画となっています。合唱団によるオープニングに始まり、総会議事をはさみながら、プロとして活躍中の26期の噺家さん、28期の３人の音楽奏者によるミニコンサート、OB応援団による同窓会へのエールなど、にぎやかに進めようと思います。勿論、懇談の時間もとってあります。

学校、OB/OG会、同期会から遠ざかっている方々もぜひご参集いただければありがたいところです。今年の秋を良い機会ととらえて、同期・同窓の結束を高めましょう。

皆様お誘い合せて、是非ご参加下さい。

来年は役員改選の年です

いずみ会選挙管理責任者　片山　隆

現在の役員は、平成27年度末をもって任期満了となります。役員(任期2年) はいずみ会発展のため、理事会等の会合に出席し、事業を検討し、実行します。

役員候補者には、現在、各期から選出された評議員をされている方、同期の方から推薦を受けている方が望ましく、また特に若い期の方からの立候補・推薦をよろしくお願いいたします。選挙要綱は次の通りです。

①次期いずみ会役員の選任は来年度定時評議員会（平成28年5・6月中）において行います。
②各役員選挙に対する立候補並びに推薦届の受付期間は、平成27年10月1日から平成28年1月31日迄です。
③立候補届・推薦届は下記の事項を明記して、第5項記載の送付先に郵送または e-Mail（Word 等で作成し添付する）・FAX で送信してください（記載漏れがあると、無効となることがありますので、ご注意願います）。
④届の受理確認は、平成28年2月中に連絡いたします。
⑤送付先：〒167-0043　杉並区上荻2-29-13-502
いずみ会選挙管理責任者　片山　隆
FAX：03-3392-1568　e-Mail：kata02_yama06@yahoo.co.jp

《届出に明記する事項》

❶立候補または推薦する役職名(会長、副会長、理事、監査役)
❷立候補者または被推薦者ご本人の氏名・期・住所・電話番号・メールアドレス
❸推薦届の場合は、推薦人の氏名・期・住所・電話番号・メールアドレス
❹立候補または推薦の理由(200字以内)

なお、選挙に関するご相談、ご質問は上記送付先の片山隆(いずみ会副会長) までお気軽にお申し出下さい。

本年度
いずみ会70周年記念総会・懇親会（於　練馬区立区民・産業プラザ3階　ココネリホール）
平成27年10月24日（土）午後1時半より受付開始（詳細は20ページをご覧下さい）

定時評議員会報告

総務・企画部長　荒井　眞理子

晴天の平成 27 年 6 月 6 日（土）、いずみ会平成 27 年度定時評議員会が母校食堂にて開催されました。後半より柴田誠校長、北江繁治副校長、PTA からは高岡未央、鈴木美砂両副会長にご出席いただきました。全員で校歌斉唱後、小林憲一理事から評議員会成立が報告されました。（定足数 201 名。13：30 現在出席者 84 名、委任状提出者 223 名の計 307 名・最終出席者数 104 名）初めに高津会長より、懐かしい桜並木の下は新しい煉瓦の道、その先の緑の人工芝グラウンドには中学生の姿も。日々発展していく学校と共に、いずみ会はその柔軟な考えと風格ある行動で臨み、後輩たちに「大泉の卒業生でよかった・いずみ会に入会できてよかった」と思っていただけるように活動して参りたいと思います。そんな気概を示すべく、いずみ会 70 周年記念式典にはぜひお誘い合わせてご参加ください。とのご挨拶の後、議長に花澤亮司評議員（高 22 期）を選出して審議に入りました。

第 1 号議案、平成 26 年度事業については青木事務局長、決算については山口会計部長よりプロジェクターによる映像を参考に報告がありました。従来の活動の他、70 周年式典準備並びに記念名簿作成への具体的な準備の開始、会計システムの更改などが実施され、会計面では入会金は学校・PTA の協力でほぼ全員の入金をみた。収入の減少傾向は変わらないが、支出もかなり抑えられたので赤字額は削減されている。以上の報告に続き、寺島監査役より、事業面、会計面共に適切に執行されているという監査結果が報告されました。

第 2 号議案、平成 27 年度事業計画案及び予算案については、主たる事業計画として 10 月 24 日に行ういずみ会 70 周年記念式典開催、記念名簿の発行、母校支援として校名看板の取り付け、財政体質強化のための働きかけ、人材バンク登録制度の生かし方、将来に向けての運営システム改革へ本腰を入れた取り組みなどがあげられました。会計面では今年度は特に 70 周年諸事業の為予算を多くとっているので赤字予算額が大きいが、引き続き赤字幅を少なくする努力をしていくとともに、収入増をめざし、寄付等のご協力要請を積極的に行うことなどが報告されました。名簿に関しての質疑応答が行われ、名簿発行に伴う仕組みをそれぞれ確認しました。

第 3 号議案、いずみ会規約改正の件、今回の改正は附属中学校から大泉高校へ入学した生徒がいずみ会会員となることに対応した規定を定めるものであると説明がありました。第 1 号・2 号議案については拍手多数を似て、第 3 号議案は出席評議員の 2／3 以上の賛成を得てそれぞれ可決承認されました。

以上の審議に続いて 70 周年記念式典実行委員長石川文武評議員（副会長）より「自主創造 70 周年を祝う」のキャッチフレーズが発表され、いずみ会の多くが集って 70 周年を祝いましょうとの呼びかけがありました。

最後に公務を終えられてご参加の柴田誠校長から、生徒たちにとって、いずみ会が身近な存在になってきていることを感じる。今年の春 3 月に 67 期生は私服で臨む最後の卒業生となったが、それぞれに進路を切り開いて出発した。非常によく頑張ったと思う。我々も中高一貫校としてこれからどのように育っていくのか、学校の組織としても中学・高校の併設型であったものを一つにまとめて、6 年間で生徒を全教職員で見て行く形にし、自分の進路を切り開いていく「たくましさ」を育てていきたいとのご挨拶を頂きました。これにてすべての審議・報告が終了し定時評議員会は閉会となりました。

平成26年度　いずみ会事業報告

いずみ会は規約に沿って、次の事業を実施した。

第1．定時評議員会

いずみ会の最高議決機関である定時評議員会を平成26年6月14日(土)に母校食堂で開催した。評議員は98名出席し委任状提出者244名を加えて定足数205を上回り評議員会は成立した。平成25年度事業報告、規則改正(ホームページ部設立)、平成26年度事業計画案を承認し、新役員を選任した。

第2．理事会、監査会等の活動

1．平成26年度は、理事会を12回、監査会を2回開催した。
2．平成26年4月および10月に開催された都立高校同窓会連絡協議会に参加した。

第3．会報の発行・広報活動の充実

1．会報いずみ第58号を平成26年10月1日に発行した。主な記事は次の通りである。
・新役員紹介
・平成26年度評議員会報告
・大泉高等学校・附属中学校　柴田誠校長着任挨拶
・母校近況(久しぶりの母校グラウンドでの体育祭、進路状況など)
2．ホームページ(http://www.izumikai.com/)
・体育祭、文化祭、卒業式、入学式など母校の行事をタイムリーに報告した。
・まんぼ会などサークル活動案内、同期会案内などを掲載した。
・ホームページ広告を広く募るため掲載料を大幅に引き下げた。
・平成26年度末で新ホームページの累計アクセスは15万を超えた。

第4．総　会

平成 26 年 10 月 26 日（日）137 名が出席し母校食堂にて開催した。いずみ会の活動や母校関連事項の報告を行った。後半は練馬区勤労福祉会館に会場を移し「4の会」の企画運営により「4で！呼んで！よびあって！」というキャッチフレーズの下、懇親会を行った。ビンゴゲームなどの企画で盛り上がりを見せ、初めて参加された柴田校長からも好意的な感想を頂いた。最後に「4の会」より「5の会」への引き継ぎを行った。

第5．会員情報の整備

1．会員情報の整備に向け、平成26年8月と平成27年3月に会員情報部会を開催し各期会員情報部幹事の確認と積極的な会員情報活動を促した。
2．平成27年度にいずみ会70周年記念名簿を発行する。従来はいずみ会内で名簿を作成してきたが、必要な労力をいずみ会内部で確保できないため発行作業を株式会社サラトに委託することに決定し、平成26年9月に契約を締結した。また会員情報部内に名簿発行準備委員会を立ち上げ名簿掲載記事の編集作業を開始した。
3．「高校67期の名簿」を作成、新会員へ配布した。
4．いずみ会個人情報取扱規定を遵守して、同期会およびクラス会などの開催を支援した。

第6．財政管理

1．会費納入率の向上、寄付金額の増加、広告額の増加等の増収対策を今年度の課題としたが、26年度収入は残念ながら会費、広告だけでなく寄付金についても前年実績を下回った。特に平成21年度以来4年間増え続け会費収入減少を補っていた寄付金が予算達成率70%、前年比85%と大幅に減少し極めて厳しい財政状況にある。
2．入会金は母校の協力を得てほぼ全員から納入していただいた。
3．会の財政を改善するために経費節減に努めた。
4．平成26年度に会費管理システムを更改し、さらに運用効率向上を図るため平成27年度からクラウドシステム導入を決定した。

第7．母校との連携

1．母校の発展に寄与するため、社会人講話、中学生への英語教育、その他の学校諸活動や、母校部活動への支援を行った。
2．平成26年9月開催の母校文化祭で「4の会」の協力を得て、いずみ会のPRを図った。
3．平成27年3月に「いずみ会入会式」を開催し、67期204名が入会した。
4．皆勤賞受賞者15名に記念品を贈呈した。

第8．人材バンク活動

1．多彩な人材の発掘と登録を行い、母校英語教育や社会人講話で成果が得られた。
2．活性化のベースであるサークル活動へ、支援を行った。
3．会員相互の交流を促進するための仕組を検討した。

第9．いずみ会創立70周年記念式典実行委員会

1．石川副会長を委員長とする70周年記念式典実行委員会を平成26年7月に立ち上げた。「5の会」だけでなく、5の会以外の会員の幅広い協力を得た。
2．平成26年7月、10月、平成27年1月、3月の4回委員会を開催して、記念式典開催日および、会場を決定し、会員の参加を広く求める式典プログラム内容を検討した。
記念式典は10月24日(土)午後に練馬駅北口にある練馬区立区民・産業プラザ(ココネリ)で開催する。
3．70周年記念として母校を支援する事業内容を検討した。

第10．将来に向けての運営体制の拡充

中高一貫校化に伴う規約改正および長期的な財務体質強化等を検討した。

平成27年度　いずみ会事業計画（案）

いずみ会70周年を記念し、規約に沿って、次の事業を実施する。

第1．定時評議員会

平成27年6月6日(土)に定時評議員会を開催する。

第2．理事会、監査会等の活動

1．原則として理事会は毎月、監査会は年2回開催する。
2．各期評議員の登録更新を年度末までに行う。

第3．会報59号の発行

70周年記念特集号として平成27年9月中旬に発行する。

第4．いずみ会70周年記念事業

1．記念式典(平成27年10月24日(土)開催)
今年度の総会は70周年記念式典として練馬区立区民・産業プラザ(ココネリ)で開催する。これに向けて実行委員会活動を推進する。
2．名簿発行
平成28年1月に70周年記念名簿を発行する。会員情報部名簿発行準備委員会で記事編集などの準備作業を行う。
3．母校支援
記念事業として校舎への校名看板の取り付けなどを行う。

第5．会員活動活性化

若手の期に対して最初の同期会開催を支援する。また、組織化されていない部活動OB／OG会に対して名簿作成等の連絡網整備を支援する。また組織化された部活動OB／OG会からは要望を募り、優先度をつけて支援する。

第6．財政管理

財務体質強化のため会費、入会金、広告収入等の収入増加を図る。

母校の発展に向けて継続的な支援のためには現在の剰余金のみでは長期的には厳しい。特に今年度はいずみ会70周年を契機に会費納入と寄付を強くお願いする。

第7．会員情報の整備

1．会員情報整備に向けて、各期会員情報部幹事の登用と積極的な活動を促す。
2．「高校68期の名簿」を作成、配布する。

第8．母校及びPTAとの連携

1．母校ＰＴＡと協力して母校支援を推進する。
2．母校の発展に寄与するため社会人講話、英語教育、部活動支援等を行う。
3．文化祭等様々な場を通して、在校生や保護者にいずみ会への理解を求めていく。

第9．人材バンク活動

1．多彩な人材の発掘を行い、登録制度を活用して活躍の場を拡大する。
2．サークル活動等、会員の能力を活かし会員相互交流の場を強化する。

第10．将来に向けての運営システムの改革

収入の仕組等を再構築するためにワーキンググループをつくり検討していく。

第10．役員改選準備

平成28年度の改選に向けて準備する。

◇評議員会出席者一覧◇

春日孟・藤井宏・堀尾慶治(中1) 山岡竹三郎(高3期) 加羽澤暉幸・橋本宏・比嘉高(高4) 大澤登・川津邦雄・松岡五郎・田中依子(高5期) 有田二郎・今村邦夫・鴨田博伸・遠畑啓・梅澤やよひ・舛巴淳子(高6期) 三島英雄・本道操子(高7期) 茂木光男・谷治正孝・片山隆・二宮靖子・宇田川公子(高8期) 木暮京子・石村進・清水信・宍戸俊雅・大軒史子(高9期) 長島慶子・野口悦子・高橋幸貫・田島寛・藤田肇・小川皓司・鈴木京子・前川禎男(高10期) 榑松太郎・関根強一(高11期) 矢田部禎夫・板橋昭寿(高12期) 早川淳・高野尚志・田中昇次・小松富貴子・国澤栄子・大高光蔵・風祭一枝・笠原孝之・高津幸一(高13期) 吉田登代子・杉山充・飯沢武士・布施百合子・高木登茂子・國谷俊之・三原寿太郎・大串康夫・松倉基子(高14期) 石川文武・村上広(高15期) 橋元宏・増田匡男・大場修一・宮地久司(高16期) 森脇玲子・成田俊彦(高17期) 石田智秀・別所信子・酒井君枝・酒井陽三・住永憲治・板谷文木・青木隆・安斉秀行・正木達夫・鈴木三枝子(高18期) 田村明子・小山雅文・進藤幸子・宮崎幸夫・佐久間優行・水野国雄(高19期) 荒井眞理子・川口章子・加納高・小林憲一・山口達夫(高20期) 若林和子・山澤洋一(高21期) 清水一男・花澤亮司(高22期) 山川新(高24期) 宇多正行・植松一幸・猪野修一(高25期) 宇野伸一(高27期) 清水由里(高28期) 鑓田政信・小倉扶美子・高柳茂宣・樽美智代・小泉成実(高32期) 伊藤勲(高40期) 一般会員:橋本豊・直井美喜子・寺島孝・小出薫(高18期) 上田佳代子(高25期)

平成26年度　収支決算（自平成26年4月1日～至平成27年3月31日）

（収入の部）　単位：円

科目	平成26年度予算	平成26年度実績（A）	予算過不足（（A）－予算）	備考
入会金	800,000	785,000	△ 15,000	
前受金戻入	740,000	740,000	0	
当期入金分	60,000	45,000	△ 15,000	
会費	2,304,000	2,269,000	△ 35,000	
前受金戻入	1,954,000	1,954,000	0	
当期入金分	350,000	315,000	△ 35,000	
寄付金	1,300,000	930,000	△ 370,000	
総会参加費	500,000	369,000	△ 131,000	懇親会123名参加
名簿関係収入	0	0	0	
広告収入	300,000	210,000	△ 90,000	
雑収入	20,000	57,014	37,014	受取利息、カンパ金(47,7千円)
合計	5,224,000	4,620,014	△ 603,986	
（参考）				
前受入会金	740,000	980,000	240,000	196名／204名
前受会費	1,400,000	1,190,000	△ 210,000	

注：前受入会金は次年度の収入、前受会費は次年度以降の各年度の収入となる。

（支出の部）　単位：円

科目	平成26年度予算	平成26年度実績（A）	予算残（予算－（A））	備考
総会関連費	630,000	629,437	563	
役員・評議員会合費	430,000	326,518	103,482	
監査役会費	10,000	10,500	△ 500	
広報費	2,900,000	2,714,483	185,517	
会費関連費	790,000	666,108	123,892	
会員情報関連費	55,000	43,304	11,696	
母校連絡費	100,000	77,288	22,712	
会員活性費	70,000	21,902	48,098	
消耗品費	20,000	11,960	8,040	
いずみ会室関連費	980,000	933,790	46,210	空調機
70周年記念事業関連費	20,000	11,500	8,500	
雑費	20,000	7,883	12,117	
予備費	400,000	110,700	289,300	70周年事業会場予約料
小計	6,425,000	5,565,373	859,627	
母校支援費	1,000,000	258,958	741,042	
在校生教育支援	200,000	148,699	51,301	
卒業生記念品・皆勤賞	200,000	110,259	89,741	
部活動助成金	300,000	0	300,000	
予備費	300,000	0	300,000	
合計	7,425,000	5,824,331	1,600,669	

（収支の部）　単位：円

項目	平成26年度予算	平成26年度実績	備考
当期収入	5,224,000	4,620,014	
当期支出	7,425,000	5,824,331	
当期収支残	△ 2,201,000	△ 1,204,317	
前期繰越金	17,811,378	17,811,378	
期末剰余金	15,610,378	16,607,061	

平成27年度　収支予算（自平成27年4月1日～至平成28年3月31日）

（収入の部）　単位：円

科目	平成26年度実績（A）	平成27年度予算（B）	（B）－（A）	備考
入会金	785,000	980,000	195,000	
前受金戻入	740,000	970,000	230,000	
当期入金分	45,000	10,000	△ 35,000	
会費	2,269,000	2,171,000	△ 98,000	
前受金戻入	1,954,000	1,841,000	△ 113,000	
当期入金分	315,000	330,000	15,000	
寄付金	930,000	1,300,000	370,000	
総会参加費	369,000	900,000	531,000	参加見込み300名
名簿関係収入	0	0	0	
広告収入	210,000	150,000	△ 60,000	
雑収入	57,014	20,000	△ 37,014	受取利息、カンパ金
合計	4,620,014	5,521,000	900,986	
（参考）				
前受入会金	980,000	980,000	0	
前受会費	1,190,000	1,100,000	△ 90,000	

（支出の部）　単位：円

科目	平成26年度実績（A）	平成27年度予算（B）	（B）－（A）	備考
総会関連費	629,437	1,356,000	726,563	
役員・評議員会合費	326,518	370,000	43,482	
監査役会費	10,500	10,000	△ 500	
広報費	2,714,483	2,900,000	185,517	
会費関連費	666,108	280,000	△ 386,108	
会員情報関連費	43,304	145,000	101,696	
母校連絡費	77,288	80,000	2,712	
会員活性費	21,902	170,000	148,098	同期会・OB会支援
消耗品費	11,960	0	△ 11,960	
いずみ会室関連費	933,790	800,000	△ 133,790	
70周年記念事業関連費	11,500	600,000	588,500	学校名看板等
雑費	7,883	10,000	2,117	
予備費	110,700	400,000	289,300	
小計	5,565,373	7,121,000	1,555,627	
母校支援費	258,958	700,000	441,042	
在校生教育支援	148,699	200,000	51,301	
卒業生記念品・皆勤賞	110,259	150,000	39,741	
部活動助成金	0	200,000	200,000	
予備費	0	150,000	150,000	
合計	5,824,331	7,821,000	1,996,669	

（収支の部）　単位：円

項目	平成26年度実績（A）	平成27年度予算（B）	（B）－（A）
当期収入	4,620,014	5,521,000	900,986
当期支出	5,824,331	7,821,000	1,996,669
当期収支残	△ 1,204,317	△ 2,300,000	△ 1,095,683
前期繰越金	17,811,378	16,607,061	△ 1,204,317
次期繰越金	16,607,061	14,307,061	△ 2,300,000

貸借対照表（平成27年3月31日現在）

（資産）

科目	平成26年3月31日現在	平成27年3月31日現在	増減
定期預金	25,000,000	25,000,000	0
普通預金	7,081,687	6,010,011	△ 1,071,676
振替口座	846,071	147,421	△ 698,650
現金	89,628	131,637	42,009
合計	33,017,386	31,289,069	△ 1,728,317

（負債及び正味財産）

科目	平成26年3月31日現在	平成27年3月31日現在	増減
前受入会金	740,000	980,000	240,000
前受会費	12,200,000	11,436,000	△ 764,000
名簿積立金	2,266,008	2,266,008	0
負債合計	15,206,008	14,682,008	△ 524,000
次期繰越金	17,811,378	17,811,378	0
当期収支残		△ 1,204,317	△ 1,204,317
正味財産計	17,811,378	16,607,061	△ 1,204,317
合計	33,017,386	31,289,069	△ 1,728,317

母校文化祭に参加

文化祭では、囲碁・将棋・オセロのゲームの他石鹸デコパージュの体験も。学校を回ってお疲れの方々のオアシスとして今年も頑張りました。

入会式

卒業式の前日の予行の時間を利用して第67期生のいずみ会への入会式が行われました。片山副会長が「人間性、人格は与えられた環境によって決まるわけではなく、如何に生きるか、努力するかによって決まる」という福沢諭吉の言葉を引用して卒業生への励ましと歓迎の言葉を贈りました。また3年間皆勤賞が対象の15名に、記念品が全員にそれぞれ贈られました。

卒業式

3月13日、第67期生の卒業式が行われました。私服では最後の卒業式。思い思いの着物に袴姿の女子生徒は古の「女学生」を彷彿させ、羽織袴の男子生徒は逆に新しい雰囲気を醸し出し…みんなで歌った最後の校歌に、何を思っていたのでしょう。素晴らしい未来に向かって204名が巣立ちました。

新評議員一覧（敬称略）

1組　伊藤　隼大・堀　夢乃
2組　伊藤　志帆・大久保　楓
3組　青木　一真・黒木　水月
4組　金子　優太・島田　澪実
5組　太田　恭史・久米　遥子

学び舎「大泉」（校長　柴田　誠）

日頃から、いずみ会の皆様には、部活動の指導、語学研修講師派遣、海外修学旅行事前指導への講師派遣など、多くの場面でご支援をいただいております。生徒・教職員を代表いたしまして心から御礼申し上げます。さて、校長として着任２年目に入り、いよいよこの大泉の新たなる歴史の幕開けを迎えることとなりました。今年は附属中学校開校６年目。高校３年生は、中学１期生を含む、高校 68 期生であります。今までの学校改革における、多くの皆さんのご協力とご苦労が、その成果を実らせる年となりました。

昨年は、私自身、中高一貫教育校が初めてでもあり戸惑う点もありました。しかし今年度は、教科統合、分掌統合を図りまさに、教職員一丸となっての、教育活動を展開いたします。幸いにして生徒の資質・能力、教職員の指導力・活力も十分あり、重ねて保護者、同窓会の皆様の協力体制も高いレベルで充実しています。ＩＣＴの教育機材がどんなに発達しようが、子供たちを育て導くのは、機械でなく人です。大人の使命です。それぞれの立ち位置で、役割を分担し、学び舎「大泉」に集う若者たちを逞しく育て上げようではありませんか。きっと生徒たちも、将来、日本を導き、他国を助け、多くの社会的貢献を果たす、そんな人材に育ってくれるに違いありません。今年は同窓会設立 70 周年の節目の年でもあります。後輩の成長を楽しみにしていただき、時の隔たりを越え一つの校歌をともに歌える同胞として、互いの帰属意識を高めあえる記念すべき年にしていただきたいと思います。どうぞ今後ともご支援・ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

勢ぞろい

いずみ会70周年を迎える記念の年に在籍されている先生方です。中学1年生から高校３年生まで一貫してサポートしていきます。頼もしく、素敵な笑顔・えがお。集合写真の為に時間を作ってくださいました。ありがとうございます！

母校体育祭

予報に反して夏のような青空に恵まれ、緑の芝も眩しくきらめく中での体育祭。中学生は体操着・高校生はクラス毎に思い思いのデザインのＴシャツ。中学生はきっと「高校生になったらあのＴシャツを‼」と思いつつ。中学生・高校生・そして先生方も走る走る。

全員で頑張っている感じが伝わってくる体育祭。ぽっかり浮かぶ白い雲がフレッシュな印象をより強く感じさせた一日でした。

校 名 看 板

「校名看板お目見え！」

西武線が母校近くを通り過ぎる時､時折聞こえてくる｢あの立派な建物何だろうね？｣

「テニスコートもあるし、緑の運動場もきれいだし…屋根の上にある丸いものは？」等々。思わず振り返って「大泉高校です！」と言いたくなった経験ありませんでしたか？学校の看板を取り付けられたら…というご希望に「そうだ、いずみ会の70周年記念事業の一つとして校名看板をつけましょう！」と計画は進みました。大安の７月４日、梅雨空の一瞬の晴れ間をとらえ母校校名看板が屋上に設置されました。桜のピンク色も鮮やかな校章を頂き、「都立大泉高等学校・附属中学校」と続きます。取り付けの日、学校へ向かう電車の中､「ほぼ取り付け完了」のメールに石神井公園まで一駅乗り越して上り・下り線双方から確認しました。わくわくドキドキの瞬間。今となっては当たり前の光景となりつつありますが、それはそれは感動の一瞬でした。

現在の部活動

【高校】陸上競技・剣道・卓球・硬式野球・水泳・サッカー・女子サッカー・ラグビー・女子バレーボール・バドミントン・山岳・ダンス・ソフトテニス・硬式テニス・男子バスケットボール・女子バスケットボール・吹奏楽・科学・日本文化・演劇・調理・文芸・写真・合唱・天文・フォークソング・漫画研究・軽音楽・(同好会：ストリートダンス・将棋)

【附属中学】ソフトテニス・硬式テニス・水泳・男子バスケットボール・女子バスケットボール・サッカー・バドミントン・卓球・ラグビー・陸上・女子バレーボール・吹奏楽・合唱・演劇・自然科学・英語・美術・調理

教職員人事異動 (敬称略)

「転出・附属中学校」		転出先等
保健体育	花澤　美穂	大泉桜高校
英　　語	廣保　賢司	田無工業高校（非常勤教員）
数　　学	内村　昭司	退職（非常勤教員）
「転出・高等学校」		転出先等
数　　学	大橋　博己	武蔵丘高校
英　　語	田中　一博	退職（期限付き教員）
保健体育	尾高　英樹	小平西高校
数　　学	劉　　信行	退職（非常勤教員）
「転出・経営企画室」		転出先等
事　　務	渡邊　薫子	久我山学園（特別支援）
技　　能	佐曽利憲彦	東村山高校
技　　能	山脇　義晴	石神井特別支援
技　　能	近内　秀起	中野特別支援
「転入・附属中学校」		前任校等
保健体育	結城　妙子	つばさ総合高校
数　　学	中村　武義	三鷹中等教育学校
「転入・高等学校」		前任校等
数　　学	西村　健太郎	町田高校
英　　語	長岡　彩子	清瀬高校
保健体育	山田　憲永	小石川中等教育学校
「転入・経営企画室」		
黒澤　和夫	（非常勤職員）	

進路状況 (浪人生を含む)

「国公立大学」

北海道１、埼玉２、東京海洋３、東京外国語１、東京工業２、東京学芸８、東京農工３、東京通信１、信州（医を含む）１、富山１、名古屋１、広島１、高知１、埼玉県立１、首都大学東京８、岐阜薬科１、北九州市立１

「私立大学」

早稲田34、慶応義塾８、上智10、東京理科23、青山学院10、学習院16、法政42、中央25、明治44、立教27、日本53、東洋41、駒澤16、専修11、北里２、芝浦工業26、成蹊18、成城１、津田塾３、東京女子11、東京電機12、東京農業19、東京薬科１、獨協３、日本女子18、文教８、武蔵10、東京都市６、明治学院９、明治薬科１

「大学校」

防衛１、防衛医科１、国立看護２

平成27年度の主な学校行事

４月７日	入学式
５月13日	体育祭
９月12・13日	文化祭
11月２～６日	高校修学旅行
11月11～13日	中学修学旅行
３月10日	いずみ会入会式
３月11日	卒業式
３月18日	中学卒業式

修学旅行事前学習

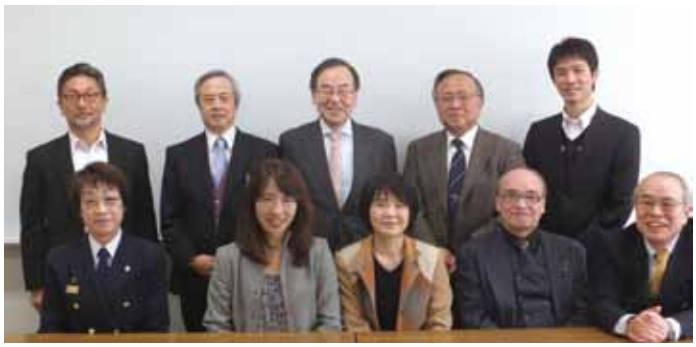
昨年のシンガポールに続いて高校２年生の修学旅行先はマレーシア。福地正さん（高21期）を講師に招いてマレーシアについて学びました。福地さんはマレーシアの国の成り立ち、「Look East」の理念に基づいた政策に始まって文字、天候、美味しい食べ物、旅行者への注意事項等ご自身の経験を交えながら楽しく紹介してくださいました。実際に役立つ情報、言葉の紹介もあり、生徒たちは11月までにさらに知識を広げて修学旅行を楽しいものにしたいと張り切っていました。

2014年度母校キャリア教育講師ご紹介

職業ワークショップ（中3）

■添田禮子さん(高14期)『中学生だからできる事』
■桑野眞暉子さん(高16期)『ディズニーに学ぶ』
■石田智秀さん(高18期)『映像の世界』
■平井秀明さん(高22期)『誰もがみんなデザイナー』
■牛田聖子さん(高27期)『音楽療法士とは』
■藤崎英子さん(高28期)『薬剤師の仕事』

社会人講話（高1・高2）



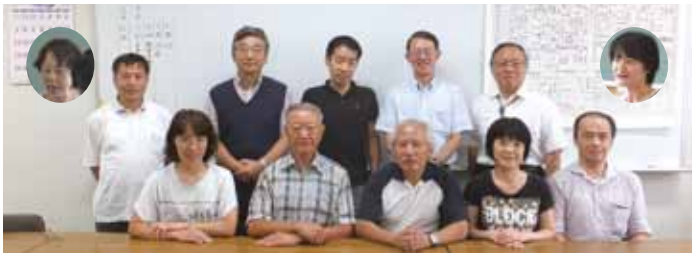
■石田智秀さん(高18期)『映像ディレクターの仕事』
■関屋　収さん(高20期)
『技術のタネをビジネスに …… 工学から経営へ』
■行本　修さん(高20期)
『中学卒業から50年、農業用ロボットの完成を目指して』
■外島　裕さん(高20期)
『偶然の出会いを運命の出会いにする力』
■守本　純さん(高21期)
『プライド&プロフェッショナリズム』
■會田　幸子さん(高25期)
『消防の世界で女性が仕事をすること、その課題と期待』
■浅原孝之さん(高26期)『再生医学の現状と未来』
■藤崎英子さん(高28期)『薬剤師の仕事』
■杉浦智恵さん(高32期)『通訳に必要なスキルとは』
■川上崇穂さん(高52期)
『未来のクルマを提案・設計する仕事』

■ 生徒の感想 ■

※感想の後の（　）内は講師のお名前です。

☆ 自分で気づくことの大切さ、夢に向かって努力する姿、キラキラしている（添田さん）★ 創造のアメリカ、技術の日本。日本の技術は発明されたものを最高レベルに仕上げられる。また、おもてなしに対する徹底ぶりにも感動（桑野さん）☆ 映像をつくるには様々な分野の事を学ぶ必要があり、それは学生時代だけではなく、社会に出てからも大切なことなんだ。そしてそれは全てに言える事なんだ。（石田さん）★ どんな生き方をしていくかというのもデザインすることだ。デザインすることは生活に必要だと思うので大切にしたい（平井さん）☆ 障害を持つのは不幸ではない、周りのサポートが少し必要なんだという認識がすばらしいし、その手段として音楽が使われるのは素敵だ（牛田さん）★ 薬剤師が薬を出すだけが仕事ではなく、薬の開発や家庭訪問で患者さんへアドバイスしたり、副作用の研究、鑑識とか、科学捜査にも範囲が広がっているのを知り、興味を持った（藤崎さん）☆ 奢るな、負けるな、努力と忍耐があれば夢は叶う…という言葉を胸に頑張る（関屋さん）★ 古くからある農業と最新のロボット技術を組み合わせる試みの成功は、農業の後継者不足や食料自給率の低下した現在のニーズに応える理想的な働き方だと思った（行本さん）☆ 心理学を学んでも将来は先生、研究、病院くらいしか浮かばなかったが、最終的には何をしていても、どこかで繋がっている学問だとわかった。どう生かすかは自分の心次第だと（利島さん）★ 自分がやりたいこと、自分が掲げた目標、プライドがあるからこそ我慢し、努力することが出来る。その道のプロフェッショナルを進めるのだと思いました（守本さん）☆ まだまだ男女が平等に社会参画できていない世の中だが、その違いをプラスの方向に向け、女性だからできること、自分だからできる事を考えるきっかけになりました。それを仕事に生かしたい。生かせるような職業に就きたい（會田さん）★ イモリの再生力が高い→その能力を人間の細胞にも持たせたいという発想から再生の技術へ発展させることに重要性を感じました。アイディアだけでなく、どうやるか、何をするかまで繋げていくことを身に着けたい（浅原さん）☆ 通訳には語学力、コミュニケーション力、観察力、記憶力、体力、度胸、豊富な知識とたくさんのスキルが必要だけれど、どの職についても同様である。スキルを増やすためには勉強すること、経験することと教えて下さった事を忘れずにいたい（杉浦さん）★ モノづくりで最も大切なのは好奇心と想像力である。この言葉は将来自分の理想の姿、夢に近づくために大切に心にとめておこうと思った（川上さん）

中学2年生夏季英語特別講座



大串康夫さん(高14期)、竹下光彦さん(高15期)、福井陽一さん(高20期)、守本純さん（高21期）、福地正さん（高21期）、山田武久さん（高21期）、曽我里美さん（高21期）、笹原みどりさん（高21期）、藤崎英子さん（高28期）、杉浦智恵さん（高32期）、林大介さん（高46期）

いずみ会70th ANNIVERSARY！記念特集
『私と大泉』

終戦の1945年、今まで内に秘めていた青春のエネルギーが弾けるように、様々な部が活動を始めました。同窓会もその中の一つとして誕生。今年で70年を迎えます。私たちは人生のたった3年間ではありますが、「大泉高校」という共通の環境で過ごし多くの事を学びました。そこで培われた思いは卒業後のそれぞれの歩みの中で、いずみ会の中で、今も息づいています。会報59号では同窓生の皆様に大泉の思い出、部活、サークル活動、現在の事等々さまざまに記事をお寄せいただきました。懐かしい写真も交えてご紹介いたします。思い出を語り合えるのも同窓会があってこそ！一人一人の歴史は同窓会の歴史でもあります。この歴史を大切に将来へつなげて参りましょう。

山岳部創部　石田　要久（高5期）

いずみ会の「里山クラブ」が誕生し、私が微弱ながら責任者となったおり、いずみ会会報に高校時代の思い出を投稿するように依頼を受けた。そこで何を書いたら良いか思案したが、たまたま本年がいずみ会創立70周年の記念すべき年に当たるので、在学当時所属していた山岳部の創部当時の事を思い出すままに記そうと思う。

創部は私の入学式直後の昭和25年4月1日である。山岳部の前身は高校3期生が中心となって昭和23年10月頃に「大泉高校・山岳クラブ」として発足し毎月1回の山行を目標に、そして機関紙「せせらぎ」を発行していた。

この辺りの経緯は、今は亡き高校3期生の石川貞昭氏(昭和60年8月、日航機墜落事故死）が創部の中心的人物として活躍されていたが、経緯を聞き漏らしたのが残念である。「いずみ会」会報は会員全員に配布されるので、当時の山岳部関係者（特に高3期・4期生）の協力を得て、創部時代の様子を明らかにしたいと考える。

これは自慢話になるが、当山岳部は高校生として初めて昭和28年3月に10日間をかけて積雪期の奥秩父連山（金峰山から雲取山まで）を縦走した実績がある。

部員諸君には、現在高校山岳部の多くが廃部になる中、当校山岳部は65年以上の歴史があり文武両道の精神を引き継ぎ、立派な人物に育って欲しい。

我が「大泉六期会」　日比野　弘（高6期）

大泉高校を卒業して60年経ったという。早いものだ。

それぞれが、いろいろな思い出を残しているだろうが、私にとっての「大泉六期会」は“我が人生の比類なきパートナー”であった。

昭和26年（1951）4月、「ようやく硬式の野球ができる。果てしなく遠くても、道は甲子園に繋がっている」と、勇躍大泉高校の入学式に臨んだ私を待っていたのは、ラグビー部顧問の門馬先生だった。曰く「君は中学でラグビーを経験したと聞いた。ぜひラグビー部にはいってくれ。」

私は即座に「野球部に入ります」と答えた。「大勢の新人が野球部に入るので、1年の間は外野で声を出すだけで終わる。ラグビー部に入れば今週の日曜日、小山台高校との試合に出してやる」。

この口説き文句に轟沈し、私はラグビー部に入部することに決めた。今でも人生最高の決断をした時だと思っている。

私は楕円形のボールを抱え、3年間大泉のグラウンドを走りまくった。大泉高校は素晴らしい学校だった。旧制高校を思わせる自由な校風で、私は勉学もそこそこに、仲間たちと文化祭の準備に徹夜したり、スポーツ各種目の校内大会を実施するために走り回った。

運動会の仮装行列の練習に生徒と付き合ってくれる担任は珍しい。3年A組は“現地人が探検隊を襲い生贄にする儀式”でグランプリに輝いたが、佐々木望先生は酋長に扮して活躍してくれた。

青春時代の成長期を暖かく見守ってくれた先生方に育てられ、我々は素直に成長していった。

あれから60年、人生の節目にはいつも「大泉六期会」の仲間がいて支えてくれた。早逝した仲間の顔も浮かんでくる。傘寿を迎える我々も、まだまだ「六期会」の仲間と、思い出の60年前を語り合いたいと思っている。

昔の写真　フォークダンス

卒業60周年記念メッセージ集『絆』発行・配布
今村　邦夫（高6期）

六期会（昭和26～昭和29卒）は昨年11月卒業後60周年記念メッセージ集を発行しました。昨春の幹事・世話人会の際、六期会の終活・見直しが話題となり、吉野二三也君からの提案を受けて会員全員に投稿を呼びかけた所、高校時代と卒後60年の人生経験をメッセージとして残したいという希望が多く、80人にも達しました。恩師である

井上、岡崎両先生からも激励文を賜り、吉野、西多、梅澤、岩瀬諸氏は原稿編集に老骨鞭打つ体力勝負で頑張っていただきました。この成果の印刷・製本には大泉高校の因縁に助けられました。編集後記の校正コピーを見た鴻巣君から、理想科学工業（株）高橋康信取締役は俺の教え子、父上は大泉時代の数学の髙橋茂先生だと連絡があり、その関係で豊島区立目白福祉作業所担当責任者下村玲子さんを紹介された。下村さんは大泉35期生、在校中はラグビー部の女子マネで、「豊嶋六期会会長、日比野先輩にはお世話になりました」と、これらのご縁でメッセージ集『絆』は完成しました。これこそ同窓会「いずみ会」のきずなではないでしょうか。高校図書室、いずみ会文庫、いずみ会関係者20期前後まで送付いたしましたが、残部が少々ありますのでご希望される方に配布いたします。ＦＡＸにてお申し込みください。

Fax：03-5982-4668　六期会事務局　今村　邦夫

メッセージ集で同期生の絆を‼

まんぽ会　田川　初子（高９期）

「少しは歩かないと、先々全然歩けなくなるわよ。」と京子さんに背中を押され入会して３年目。皆さんの後ろ姿について行く事だけで精一杯で、どうしても遅れがちな私。ふと後ろを振り向くと、アンカーにかならずいらっしゃる母のように、そして先頭は父のように、この優しさと笑顔の愛情が、まんぽ会の歴史そのもののように感じます。

思い返せば入学して籠球部に入り、まわりが雑草、コートは砂利、校庭の端で電車の行き交う音を聞きながらの練習。その時の友は今でも親友。そして今、同じ大泉高校の門を通ってきた諸先輩、後輩の方々とこうして座を交えて常に自然体で参加できることは何物にも代えがたい時と感じています。

それが今や70周年。人間の人生そのものの紆余曲折、喜怒哀楽を経て現在あることに感動し、今後のまんぽ会の歴史を継承すべく足手まといにならないよう、お手伝いまでできるようになればと思います。

高校時代断片　北上　俊人（高11期・国語科）

ぬかるみになったゴールポストの下で、キーパーが特訓を受けていた。コーチは至近距離から蹴る。キーパーは跳びつくがボールに触ることもできない。コーチの顔は険しくなる。キーパーは泥にまみれくたくたになる。雨は降り止まず、両者の意地の張り合いが続く。高校生活というものの生々しさを感覚的に知った1955年の初夏。

私はこの年の後半を休学。翌年以降やっと通常に戻った。入山・石上・宇高・尾造・杉田・小島・岡崎・相川・井上・岡部の諸先生方の授業はそれぞれ独特の味わいがあって、しばらく授業から離れていた身には興味深かった。

昔の写真　バレーボール

部活動は、壊れかけた木造平屋建ての。電灯もつかないバラック校舎奥の「美術室」をアトリエとして、石膏デッサンに励むもの、油彩や彫塑の制作を行うものたちのゆるやかな集まりであった。また、そんな部の雰囲気に馴染んでなんとなく集まってくるものにとってのサロンでもあった。（時々鼠も）その時の５人ほどがもう旅立った。

あの頃の母校は　布施百合子（高14期）

私が通っていた頃の高校は校門を入って桜並木の突き当りは職員室等がある本棟でした。用務員の前田のおばさんがいつもニコニコと仕事をしていて、ボタンが取れたとかズボンが破れたとか言って生徒が持ってくると繕ってあげたりもしていました。昼食時には組名が書かれたおおきなやかんにお茶を沸かしてくれたので十分飲むことが出来ました。他校では恐らくお茶は出なかったと思います。このお茶は校庭の垣根としてぐるっと植えられていたお茶の木から、男の用務員の樋沼さんが摘んで前田さんとで生徒全員が飲む一年分のお茶を作っていたのです。樋沼さんは石炭ストーブの手入れをしたり壊れた板壁の修理をしたり校庭の雑木林や桜の木などの手入れを一年中していました。

あの頃は10年15年の永年勤務の名物先生が何人もいらっしゃり私の父（相川秀夫）も昭和19年から20年間大泉高校で物理・化学を教えており、私の在学時は教頭でした。朝礼の時に台に上がった父が今日はいったい何を話すのかとドキドキしたものです。私の兄弟４人全員が大泉高校を卒業したので夕食後の団欒にはよく先生方や学校の話題に花が咲きました。

大雨が降った後の校庭は正に「大泉」となり名前の由来はここからではないかと思うようで、数日は使えませんでした。今の校舎校庭はあまりにも素晴らしくて理事会などで来ても母校というより素敵な学校に来た気になるのですが、あの桜並木を通って帰ると50数年前を思い出して振り返って見てしまいます。そこには木造校舎は無く広い校庭が青く輝いています。

昔の写真　校庭水没

ダンスと体操と私　吉田登代子（高14期・保健体育科）

昭和34年大泉高校に入学。オペレッタに憧れて合唱部に入部。その翌日、勧誘されてダンス部にも入部。１年の文化祭は２つの舞台で忙しかった。２年時、後輩の男子より「体操をやりたいがダンス部と組むことは出来ないか」と相談される。当時は体操部といっても徒手体操が多く、都立高校ではダンス・体操部と銘うっている所が多いとかで顧問も了承。名称改めダンス・体操部が成立。熱心な部員ではなかったが、３年時運動会の昼休みに団体徒手体操を披露したのを覚えている。

大学ではダンス部に所属。週に３日位の活動ではあった

が、真面目に参加。得意種目はと問われれば「ダンス」と言えるようになる。41年埼玉県の高校に就職。体操部の顧問であった。その後都立高校へ異動して49年母校の教師となる。顧問はダンス・体操部。しかしダンス班員は0人。52年に担任していた生徒からダンスをやりたいと相談されて復活。部員はそれぞれの舞台で、試合で活躍するが、平成元年に私は頸椎の変形症で手術。体操班を専門の先生に委ね、それぞれが独立した部となり、ダンス部の顧問として携わる。平成4年の転勤先でも体操部の顧問であったが、補助に徹し11年。振り返れば体操と関わる年月の方が長かった。退職してからジムで太極拳をやっているが「貴女のはダンスですね」と言われる。顧問年数とは関係なく、矢張り私はダンスの教師で、ダンスが好きだ。

■ 昔の写真　水没した駐輪場

記憶の中の授業　大軒　史子（高9期）

記憶が確かなら、大泉では、文学の授業が3種あった。現代国語・古典・漢文。

古典は、1年に「徒然草」、2年は「枕草子」、3年は「源氏物語」、いずれも原文をしかるべく抜き出した薄い教科書があり、1年の堀江徳宝先生は、「つれづれなるままに、日ぐらしすずりにむかひて、心にうつりゆくよしなしごとを、そこはかとなく書きつくれば、あやしうこそものぐるほしけれ」の序段に、まるまる1学期かけられた。2・3年は、志賀一朗先生。その頃出版された谷崎潤一郎の『新訳源氏物語』を自宅で読み、高校2階の図書室で、柳亭種彦『偽紫田舎源氏』をせっせと借り出して読んだ2年生の夏を懐かしく思い出す。

『キュリー夫人伝』に影響され、化学者になるつもりで高校入学し、数学の、土屋正夫先生の授業に魅了され、数学者になろうと考えたりしていた幼稚な高校生が、結局、大学の国文科に進学したのは、高校3年間の様々な授業の集積がなせる仕業だったろうか。

青春は一度限り謳歌せよ。今日できることは、今日するべし。　石田　智秀（高18期）

大泉の学舎を出て、早くも半世紀が過ぎ去りました。2年生の通信簿、その所見欄に恩師の文字で「君は、青春を謳歌しすぎないか？」と記載されていました。確かに、当時の私は勉学に励む優等生ではなく、恋に恋し、体育祭、文化祭に情熱を注ぎ、休みになると海や山へと遊ぶことが大好きでした。当時私は、恩師の言葉をむしろ『青春は一度限り謳歌せよ。今日出来ることは、今日するべし』という檄「大泉の校風」として捉えていたのです。50年の歳月を経た後期高齢者の年代になってもこの言葉は依然として私の心構えの一つです。『青春』は『人生』という言葉に変わりましたが。

忘れられない出来事―卒業アルバム　行本　修（高20期）

昭和43年卒アルバム「467人の記録」、私はその編集委員（長）でした。クラス毎のページは各クラスの委員がその構成と編集を行うのですが、当方は他のページの編集や素材となるスナップの撮影、プロによる集合写真等撮影の立会い、そして放課後はもちろん昼休みも暗室で現像・焼付けの毎日でした。出来た原稿は写真屋さんのあった駅から通学の女子（当方片思い）に届けてもらいました。

受験勉強から一時でも逃れられる公的役どころを与えられ、充実感あふれる日々でした。その後ろめたさのせいか、当時委員「長」と言われるのが無性に恥ずかしかった。デキの悪いのが調子に乗って、進学先は予備校でした。

自分にとって大泉とは　関屋　収（高20期）

東大泉に育ち、大泉保育園、大泉東小、大泉中学へと進み、宿命か、迷わず大泉高校へ。バスケット部に所属し、富浦臨海学校、榛名山林間学校、ひまじん同好会などと元の交流。沢山出会い、汗を流し、学び、豊かな3年間でした。

卒業後、友達との付き合いはさらに進化。大学時代は読書会「道化の会」。14年間助教として参加した富浦臨海学校。すでに6回を数えた100名規模の同期会、毎年の小同期会。8年前から始まった20期HP。大泉5期後輩の妻との間に3人の子家族と5人の孫。私にとって大泉は、「今ある幸福の源」です。感謝。

私と大泉　中川　惠（高20期・保健体育）

私が入学した頃は、まだ木造校舎で、鉄筋校舎は1棟だけの時代でした。

生徒、教員として13年間「大泉」に通い、臨海学校の助教として大泉と係わった期間も含めると20年以上になりますので、振り返れば、思い出も山盛りです。限りがありませんので私にとっての「大泉」を語るとき、忘れられない生徒の時代の思い出を一つだけ。

1年の時の担任でもあった小島先生（クマさん）の世界史での『宦官』の話は、今でも鮮明に覚えています。クマさんの世界史は、教科書の順番通りではなく、中国史から始まりました。最初の時間だったと記憶していますが、「これを理解しないと、歴史は理解できない」で始まった。そして、歴史の流れと因果関係の説明があった後、必ず「これには後日談がある」で始まる裏話に、『歴史の世界』へ引き込まれていったのを、（今でも鮮明に覚えています。）昨日のことのように思い出します。

■ 昔の写真　朝礼

アマチュア野球で活躍　宇山　秀明（高 20 期）

父とのキャッチボールで野球の楽しさに目覚め、お茶の水女子大学附属中学ではエースとして文京区大会で優勝。大泉高校野球部に入部しましたが、身体が小さく外野手に転向。チームは“都立 NO. 1”と言われましたが“甲子園”は「夢のまた夢」でした。高３夏の大会は惜しくも４回戦で敗退。神宮第二球場で多くの仲間たちの応援を背に、忘れられない試合の一つです。

二学期に入り、野球部顧問に「慶應で早慶戦に出たい」と相談したところ、「井の中の蛙だ」と反対されました。３年秋にクラス対抗サッカーで頭部打撲の怪我をして２ヶ月の入院もあり、２年浪人の後、慶應義塾大学へ入学しました。

目標の野球部に入部しましたが身体はガタガタ、無理かと諦めかけましたが３ヶ月後にやっと本来のスピードが戻り、100m10 秒台の快足を買われて１年秋からベンチ入りを果たすことができました。しかしその後は肉離れ等の怪我に泣かされ、１番ライトのレギュラー定着は４年からです。その間の「慶應三連覇」には代走としてのみ貢献。４年春のリーグ戦は自分でもビックリの成績で、第二回日米大学野球のメンバーに選抜され、渡米してドジャース球場等でプレーしました。プロで活躍した山下・藤波・中畑・田尾等と臨んだ日米野球は楽しい思い出です。神宮最後のシーズンは、早慶最終戦で首位打者から陥落しましたが、六大学ベストナインに満票で選ばれました。第三戦、１本安打を打つか、欠場していれば首位打者獲得で長く歴史に刻まれるところでしたが・・・。

卒業後はプロへは進まず、住友金属（現、新日鐵住金）へ入社。ノンプロでも、社会人年間ベストナイン、第二回日本選手権首位打者、都市対抗出場などの実績を残すことができ、甲子園球場での社会人野球日本選手権２回目の優勝を最後に 30 歳で充実した野球人生を終えました。

両親・家族をはじめ多くの方々のご理解と応援を戴けたからこそだと思います。

私の野球の原点は、中学時代の「毎日練習している区立中に、週２しか練習できないお茶大付属中が如何に勝つか」です。平成９年秋から今春まで大泉の後輩達の練習を見て、「少しでも向上に役立てば！出来れば野球を続けて欲しい」とレベルに応じたアドバイスを送ってきました。現在は再就職支援業務の傍ら、他大学の野球部で「野球は確率と記憶力のスポーツ」「人と同じ事をやっていては駄目」「事前の準備が肝心」などと論しながら指導を続けています。

わたしと大泉　平井　秀明（高 22 期）

現役高校時代の思い出は数々あり、やんちゃ話を今でも当時の仲間と語り継いでいるが、１年１組の時から４人のグループで家族以上の付き合いをしていた仲間の一人が４/19 の逝去。その思い出を今年は封印しています。そんな訳で私と大泉はまさに今、母校キャンパスも生まれ変わり、社会人講話の講師を体験し、若い後輩たちとの触れ合いそのものです。後輩達にはムサ美でデザインを学んでちゃんと社会人となり、この年 63 歳までの生きた経験―人生は机の上のお勉強だけじゃないことを伝えたかった。デザイン、デザイナーというとちょっぴり特別な感じがするが、実は自己意識を持った時から皆それぞれの人生のデザイナーなのだ。デザインは意図・企画。デザイナーはそれをする人。進学、職業、恋愛、趣味…等をのびやかに大いにデザインして欲しい！という事を若者に伝えるために自分自身をニューデザインしたひと時。前途有望な若者たちと時空を共にできて幸せ‼

同窓生との縁　會田　幸子（高 25 期）

いずみ会 70 周年おめでとうございます。私は 60 周年の時にお手伝いをさせていただきましたが、あれからもう 10 年かとの思いです。当時は懐かしい円形校舎も使っての記念行事でしたが、多くの同期も参加しての楽しい一日でした。当時私は、仕事で人生一番のハードな時期でしたが、お手伝いさせていただくことで心のバランスを取っていたように思います。そして、その時の出会いで昨年、私の最後の職場に「まんぼ会」の皆さんが訪問して下さったことを思うと同窓生という途切れることのない縁を感じております。これからもいずみ会がますます発展されることをお祈りしております。

変革期の大泉高校を目のあたりにして
堂山　愛生（高 28 期）

私には４人のこどもがおります。いずれも女子で大泉高校の卒業生また卒業予定生です。中高一貫校となった第１期生として４女が入学いたしましたので、不思議な巡り合わせで、４女が大泉付属中学校の３年生の時から３年間 PTA 会長を勤めさせて頂きました。

おかげさまで、懐かしい円形校舎の解体など淋しい思いも致しましたが、母校の変革期を目の当たりにできましたことを有り難く思います。及ばずながら、変革期において大泉の良き伝統を護ることが出来たとすれば幸いです。是非、諸先輩後輩諸氏には、新しい大泉高校に足を運んで頂きたいと、この場をお借りしてお願い致します。

私にとりまして親子で通った大泉

昔の写真　体育祭

の思い出は計り知れない絆となりました。心より深く感謝しています。これからも卒業生として、PTA活動を通して、文武両道・自主創造という大泉の伝統の為に励んでまいりたいと考えております。

遠 泳　藤崎　英子（高28期）

当時の大泉高校には、プールがなかったので、水泳部への入部希望だった私は少し残念でした。その代わりに1年生は夏休み中に臨海学校で遠泳をすることになっていました。遠泳という目標のために、都立石神井高校のプールを借りての水泳練習、遠泳に向けてのクラス分けがあり、その時に助教という存在を知りました。OBOGからなるその集団は新1年生に厳しくも優しく指導してくださいました。とても輝いて見え、私の目標となりました。私も助教になりたい。夢を叶え、高校時代の先輩とのつながりは今も私の宝物です。

ありがとう、大泉！　小沼　純子（高28期）

高校1年の終り頃、帰宅部だった私は「合唱部のピアニストにならない？」と誘われたのがきっかけで音楽部合唱班に入部した。中途入部の私をクラブのみんなは温かく受け入れてくれた。気を使って声をかけたりするのではなく、自然体で接してくれたことがとても心地よかった。何しろ仲のよいクラブで先輩（常にOBの方々も参加していた）も後輩もなくピアノの前に集まっては誰からともなく歌う、ハモる、暇さえあれば部室に集まり歌い、部誌をまわし話しきれなかったおしゃべりを記す。休みの日には公園でバレーボールをしたり、クリスマスコンパ、追い出しコンパなどいつも一緒に楽しい楽しい日々を過ごした。歌の大好きな仲間は公園でも帰り道でもホールのロビーでも昼でも夜でもいつも歌っていた。あまりにも楽しいのでOBの合唱団ができ、卒業してからも10年あまり大泉混声合唱団として集まった。それぞれ就職や結婚、転職などで20年ほどは途絶えていたが、また40を過ぎて集まり、今も細々と歌っている。

大泉は「人」が素晴らしい！クラブだけでなく同期会、クラス会など頻繁に開くのは28期だけではないでしょう？いくつになっても心地よい素晴らしい「人」のつながりをくれた大泉高校に感謝している。

思いをつなぐ　戸谷　広子（高31期・社会科）

縁というものは不思議なものだ。まさか自分が母校である大泉高校に教員として赴任するとは思ってもみなかった。偶然ではあろうが、旧校舎最後の1年間、そこで過ごすことができた。物理室の手前の教室は既に改装されて別の用途で使われるようになっていたが、そこは私の高3の1年間を過ごした教室で、後部壁面のコートかけのフックはそのまま残っていた。ふれるとさびのにおいがした。長い間、教室をのぞきこむように立ち、生徒たちの声に静かに耳を傾けていた銀杏の樹々も、秋に燃えるような最後の黄葉を残して切り倒され、生徒たちの思い出をつないだ旧校舎も今はなく、跡地に人工芝のグラウンドが造られた。これもまた偶然ではあるのだが、新制度の中高一貫校になる前の、最後の大泉生の担任になり、その中で、最後の「HR合宿」と呼ばれる行事を引率して沖縄へ行き、クラス討論を楽しんだ。ちなみに私は最初の「HR合宿」で伊豆大島へ行った生徒だった。最初と最後に立ち合えたことは感慨深い。今は新しい伝統を創ろうという気概を持ち、明るく生真面目な制服姿の生徒たちとすごしながら、消えていったものたちがふとその後ろに立っており、今を見守っているような気がする。

昔の写真　体育祭

私と大泉　樽　美智代（高32期）

最寄駅は石神井公園駅を利用していたので、大泉学園駅はお隣。練馬区民の私にとって、大泉はまさしく学園天国？の…大泉中学校と大泉高校のことだった。

13歳から15歳、中学校では先生に言われた通りのことをしていれば優等生だったが、高校では初めてのテストから落ちこぼれた。強制も指導もなく、ただ自主性を重んじると言われ戸惑いもした。が、そんなことはお構いなしに、とにかく楽しかった。友がいたし、仲間ができたし、恋もした。数学の時間に「貴女は数学やらなくても、家庭科と美術を頑張れば卒業させる」と言われて進路も決まった。そんな16歳から18歳も大泉。

50歳を機に同期会を開催し、以来、SNSも含めて交流が続いている。中学も高校も、当時は知り得ぬメンバーが、大人になると楽しい仲間として大泉に集う。今の私にとって、多感な10代を過ごした大泉は、思い出を語りつつ楽しい50代を過ごす場所だ。

柔道部　春木　康（高32期）

昭和52年（1977）の春、私は都立大泉高校に入学。印象として強く残っているのは正門から続く美しい桜並木、恵まれた広い校庭と図書館・部室を備えた印象的な円形校舎。そして真面目で良識と見識に富んだ多くの先輩、同級生、後輩でした。清々しい桜並木を彼女と一緒に歩く姿を想像したものです。残念ながら、願いは叶いませんでしたが、吹奏楽部ではトランペットを吹き、ESSでは出たくもない英語劇に参加、今は

昔の写真　並木道

無き、柔道部にも所属し寝技の達人（勿論自称）となりました。２年生の時には生徒会長にも就任。極めて多忙な学生生活を過ごしました。帰国子女であった私が、良識ある“日本人”の環境を求め大泉高校で過ごせた３年間は、大正解でした。邦銀を経て外資系勤務21年目となる現在も外国為替業務に従事しています。多忙な私にとって、穏やかな気持ちに戻れる場所が大泉とそこで出会った多くの心友です。

私と大泉　日江井光輝（高35期）

みなさんは大泉高校というと、何を思い出されますか？私は正門から続く長い桜並木、400ｍのトラックが取れた都立校屈指の広いグラウンド、円形校舎、やまだうどん、正門と裏門にあった青せん・赤せん、プールの無い学校などを思い出しますが、この中で今も昔の儘残っているのは桜並木くらいになってしまい、今の校舎とグラウンドや体育館を見て、素晴らしいという気持ちと、寂しいと思う気持ちになるのは私だけでしょうか？

話は変わりますが、中高一貫校となり、各学年の生徒数が今は以前の半分になってしまい、団体スポーツの部活は部員を集めることが難しく、一校での存続は危機にあるようです。私が所属した野球部も一時期50名を超す部員がいましたが、今はわたしの現役の頃と同じ十数名になり、３年生が抜けるとチームがぎりぎり編成できるか？という状況のようです。一番の思い出である野球部が、いつまでもなくなることなく、続くことを願うばかりです。

大泉と私　小山　信一（高35期）

大泉に思うことは、一生の付合いの方々と出会えたということです。私のクラスは仲が良く、20,30代の頃は３年に一度クラス会、そこにクラス会がない同期生も集まり交流が広がりました。40代ではそのメンバーから同期会へと続いています。様々な職業がいるので、医者や歯医者の友人には健康相談、保険の友人には保険をお願いし、同期生兼バレー部の建築業の友人には家の建て直し、リフォームもお願いし、今もすぐに来てくれる頼もしい友人です。バレー部の先輩、後輩とは練馬区の大会に十数年参加し、今でも忘年会だけは続けています。会社で実業団活動をしていた時、数名の後輩が参加してくれ、関東大会に出られるまでの数年間、毎週末練習、試合の連続でした。そして、担任の先生には30代の時人生の岐路の相談をし、先生の一言で私は決断でき、今は幸せな生活です。友人たちのように頻繁に会う訳ではないですが、ずっと頼りにしていて感謝している方です。原稿を書いてみると私の人生の多くが大泉での出会いで成り立っているのですね。多くの出会いが大泉の３年であったという事は、校風のおかげだと思っています。

昔の写真　マスコット

私と大泉　武田　恵子（高38期）

私は大泉が嫌いだった。小学生の頃から憧れていた34群の中でも、交通の便が良い理由で大泉に進んだが、そこは「勉強の大泉」。反抗期で強制される事を嫌った私は、周りが良い子で勉強させられている集団に見えた。しかし、当時の大泉の先生方は放任主義。全く強制なんてしていなかったのだが。

勉強に背を向けた私は、応援団とアルバイトに熱中し、そのまま卒業した。

あれから大分時間が経ち、あの頃の自分が面倒なことから逃げ、自身に甘かった事を痛感している。今、大泉を想う時、応援団のエール前の緊張した空気、湿気を帯びた円形でパン屋に並ぶ列、桜の落葉を掃く竹ぼうきの音、もう会えない友の早弁をする笑顔が、目に浮かび涙が溢れるのだ。そうか、私は大泉を愛していたのだ。

そして、38期同期会は５年前に円形で再会を果たし、また友達の輪が広がり始めた。

同窓会いずみ会70周年おめでとう。

私の高校生活　植村　直人（高50期）

私の高校生活は、とにかく中途半端な適当な生活だったと思います。そんな中でも私が出会ったこととして二つほどあります。

一つは、音楽の授業で習い、その後フォークソング部で練習したギター。ギターは音楽の授業で何か発表しなくてはならず、「女子にモテル」と思い始めたのがきっかけでした。そんな何気に始めたギターですが、現在も人前でやることはないですが、自宅で仕事の後に遊ぶ大切な趣味となっています。

もう一つはマラソンです。冬になると学校の周りをひたすら走る授業がありました。当時巨漢であった私は走り終わった頃には授業が終わっており、ものすごく悔しい思いをしたことを覚えています。それから毎晩走り続け、翌年には結構な速さになり、現在でもハーフマラソンに年２～３回ほど出るようになりました。

私の高校生活

昔の写真　文化祭

は、あまり一生懸命ではなかったですが、一生付き合える相棒を見つけることができた大切な時間であったと今となってしみじみ感じます。

夢の一歩　花澤　美穂（高 58 期）

大泉の友人は学校や仲間など人の為に動くことのできる人が多く、先生方も大らかで信頼のできる方ばかりで、普段の生活は穏やかですが、勉強・部活動・行事では一旦スイッチが入るとパワーがあり、その中で生活することが楽しくてあっという間の３年間でした。また卒業した後も安心できる仲間や先生方に出会えたことも私にとってはとても大きいです。５年後大泉に着任し、正直戸惑いもありましたが、後輩が充実した学校生活を送れるように…と目標を立てて過ごし、こちらも明るく優しい生徒や先生方との素敵な思い出と出会いの詰まったあっという間の５年間でした。切望して入学した高校で見つけた夢の一歩を、自分の母校で踏み出せたことはとても幸せだったと思います。70 周年を迎えましたが、学校も大泉生も愛される存在であり、大泉の良さがこれからも続いて行く事を願っています。

昔の写真　高校受験会場

南米で生活して　伊賀上知雄（高 20 期）

高校 20 期、昭和 43 年（1968）卒業の伊賀上知雄（イガウエトモオ）と申します。１年生の担任は国語の橋本精一先生、２年次が体育の清水真事先生、３年次が物理の小田切理文先生でした。

卒業して東京商船大学航海科に進んだのは外航船の航海士､船長になりたいという気持ちが強かったからでしたが､卒業した 1972 年は各海運会社が採用を大幅に控えた年で希望していた船社には入社出来ず、海外に行ける可能性があるならと商社に勤務しました。

パラグアイ：
首都アスンシオン上空からの俯瞰写真、右は国の英霊を祀っている英雄廟

チリ：
冠雪のアンデス山脈を背景にした首都サンチアゴ市街

1979 年末に南米パラグアイ駐在を命ぜられ、爾来 10 年７ヶ月の長期間に亘って首都アスンシオンに駐在しました。1990 年７月に本社勤務になったものの翌年 1991 年 11 月にチリ駐在となり首都サンチアゴに赴任、1999 年までの８年間駐在しました。パラグアイ、チリ駐在中に近隣諸国出張の機会が幾度もありまして、南米ラテン諸国、公用語は何れもスペイン語（ブラジルはポルトガル語）であるにも拘らず、各国それぞれに風土、気質が異なり、スペイン語も表現、抑揚も異なるという場面に遭遇し、ラテンだからと十把一絡げにしてはならない、国も人間と同じで十国十色であると痛感しました。現在は嘗ての駐在地であるパラグアイで情報処理関係の仕事をしています。

アルゼンティン：
首都ブエノスアイレスを貫く７月９日通り

パラグアイはブラジル、アルゼンティンという南米の大国に挟まれ、嘗ては両国と戦争をした歴史があり、経済面では両国の多大な影響下にあることから、風見鶏、もっときつく申せば旦那を二人持った愛人と揶揄される、周りの目をとても気にする一種村社会的雰囲気があります。言語もスペイン語の他に土着インディオの言語であるグァラニー語を使う（スペイン語との混合使用も含め）人達が国民の７割近く居るのも特徴で、スペインからの移民が多いにも拘らず、勇猛果敢なることで名を馳せたグァラニー族精神こそパラグアイの基本であるという気持ちが強いです。

チリは故深田祐介氏の「革命商人」で知られていますが、チリ人自身の著作の一つに“El Caracter Chileno”文字通り「チリ人気質」という題名の本がありまして、その中の一章に　Espíritu de Isla（島国根性）というのがあった

西武池袋線「練馬駅」 北口下車３分
鈴木クリニック
○内科　○小児科　○呼吸器内科　○消化器内科
都立大泉高校内科校医　鈴木次夫（高16期）
〒176-0001　東京都練馬区練馬1-27-1
TEL. 03-3991-1581

売買代金・請負代金等の金銭問題／交通事故等の損害賠償／不動産取引・登記・借地・借家等不動産／相続・親族問題／破産申立等倒産処理／その他民事一般
宇多法律事務所
弁護士 宇多正行（高25期）
〒162-0801 東京都新宿区山吹町261番地 トリオタワーノース5階
TEL. 03-6675-3184　FAX. 03-6675-9552
E-mail　att-uda@eos.ocn.ne.jp

のは驚きました。曰く、北部は砂漠でペルーと遮断されている、東部は急峻なアンデス山脈が屏風の如くに聳えていてボリビア、アルゼンティン両国との交流を分断している、南端は風浪逆巻くドレーク海峡で遮られ、西部は太平洋に面した海岸線、即ち、南米大陸にあって陸の孤島という存在であり、外部との交流・接触に乏しかったが故に島国の感覚が育ったというのです。確かに上手い喩だなと思いました。加えてチリ人の御先祖は60%以上がスペインはピレネー山脈の麓のバスク地方出身と言われていますから、良く言えば勤勉働き者、悪く言えば吝嗇ケチと称されるのも成程と妙に納得してしまいます。

アルゼンティンはと申せば、スペイン語に独特の抑揚と発音があって、話しているのを聞けば、ああ此の人達はアルゼンティン人だと直ぐに判ります。また御先祖の60%以上がイタリア移民でして、現ローマ法王もイタリア移民の子孫であるのは御案内の通りです。アルゼンティンはエネルギー、食糧・食品、鉱物資源その他国民が必要とするものを自国で全て賄うことが可能な地球上で唯一の国と言われていまして、政治・経済の混乱はあってもしぶとく強かに強気で生きているのはこれも理由の一つかなとも思ってしまいます。首都ブエノスアイレスは嘗て南米のパリとも称された優雅な佇まいが残っており、パリのオペラ座、ミラノのスカラ座と並ぶ三大オペラハウスと言われるコロン劇場があります。総大理石の壮麗な建物で内装は豪華絢爛、旧き善き時代を彷彿とさせます。

日本で言われるラテン気質、良く言えば大らか、悪く言えばいい加減な言動も徐々に変化しており、嘗てはアスタ・マニャーナ（明日があるさ）が日常茶飯であったここパラグアイでも経営者の世代交代が年々進むに連れて、時間と約束に厳しく対応する、日本人にとっては当たり前の行動が生まれつつあります。

エネルギー、食糧、鉱物資源豊富な南米には日本人の血を引く日系人の存在があり、南米大陸全体でその数160万人とも170万人とも言われまして、物的資源に加えて人的資源の観点から日本は南米にもっともっと目を向けるべきだろうと思うところです。安倍総理は先に中南米五ヵ国を訪問され、日本政府として中南米日系社会との連携強化を対中南米政策の柱に据えています。

偶には地球儀をくるりと回して南米に思いを寄せて頂ければと思うところです。

祝 いずみ会総会

総会に参加しましょう

高5期同期会

祝 いずみ会70歳

おめでとうございます

高8期同期会

祝 70周年

高14期同期会

●70周年総会に参加しましょう

●同期会は今年も10月14日

●いつもの第一イン池袋「ピノ」でいつものように楽しく過しましょう

和竿 作ります　どの竿も 38,000 円

外房・フグ竿　(上：丸節竹，下：布袋竹)

釣り場・釣り方をお聞きし貴君の手に合った竿を作ります.
一級の素材を使った本漆仕上げです. アフターケアもお任せください.
キス，カワハギ，メバル，コチ，アジ，フグ，イサキ，タイ，ヒラメ，ヤリイカなど海の船竿一般

上主和孝 (高21期)　〒182-0026 調布市小島町 1-4-6
TEL & FAX 042-487-9572
MAIL:kaminushi@jcom.zaq.ne.jp

♪ 貴方も一緒に歌いませんか ♪

大泉高校OB・OG合唱団

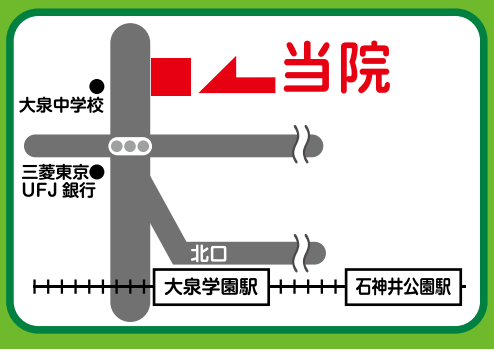
- 練習　月2回　金18：00～20：00
- 会費　月1,000円位
- 場所　勤労福祉会館（大泉）

連絡先　大野和美（高7期）
Fax・電話　04-2990-2330
メールアドレス qzb12356@nifty.com.

KUBOTA HOSPITAL
救急指定
母体保護法指定
医療法人社団

産科・婦人科・不妊相談
久保田産婦人科病院

小児科(月・水・金)PM2:00～3:30　大泉学園駅北口徒歩5分
TEL 03-3922-0262　http://kubota-hosp.jp/



カンザキ建設 ― 本物素材『無垢の木と漆喰の建築』―― HiNOX
▼本社モデルハウス

現在23版ベストセラー

(基本編)
ダイヤモンド社刊

現在10版ベストセラー続編

(実証編)
ダイヤモンド社刊

基本編の文庫本

(文庫本)
文藝春秋刊

全国の図書館、および有名書店に有ります。神崎隆洋著(一級建築士 代表取締役)
神崎建設株式会社 サンキューナ イイゴエン 03-3397-1150 www.hinox.net

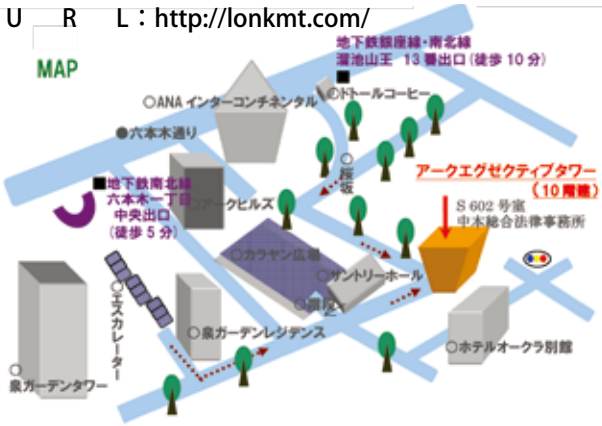
本社モデルハウス内覧会のご案内
年中無休
(年末・年始を除く)
AM10:00～PM6:00
どうぞ、お気軽に遊びにいらして下さい。
〒167-0035
東京都杉並区今川3-20-5
●資料のご請求はお気軽に。

中本総合法律事務所

代表　弁護士　中本　攻 (高13期)

住　　所：〒107-0052 東京都港区赤坂1-14-5
　　アークエグゼクティブタワー S602号室
代表電話：03－3568－7600
携帯電話：080－6729－1942
ファックス：03－3568－0891
E-mail：osamu.nakamoto@lonkmt.com
URL：http://lonkmt.com/

MAP



東北大震災

風化させないために わたしたちは！

高木自動車代表取締役　高木登茂子 (高14期)

〒353-0001　埼玉県志木市　TEL. 048-473-0039

同期会インフォメーション

報　告

● 高8期
日時：平成26年12月1日（月）
場所：青山ダイヤモンドホール
　8期会は過去イベント等、様々な企画で開催されて来たが、つもる話を語り合うのが1番、との結論が幹事会で出され、以降おしゃべりに徹している。

● 高9期
日時：平成27年5月12日（火）
場所：池袋東武デパートバンケットホールにて
　喜寿という節目の年に当たるので参加者も84名。思い出の一ページを心に刻みました。

● 高38期
日時：平成26年11月1日（土）
場所：ホテルローズガーデンにて

● 高43期
　2014年2月、ソチオリンピックで同い年の葛西紀明選手の活躍を見て、卒業以来会っていない同級生達と会いたい！と発起人の藤村君が言い出したことがきっかけで、43期は卒業から23年経って始めて同窓会を開催しました。第一回は、2014年4月5日（土）に池袋で開催し約70名の参加。第二回は、2015年6月6日（土）に同じく池袋で開催し約60名の参加。久し振りの再会に、最初は大絶叫！お互い懐かしんだり、喜んだり。1年に1回はみんなで集まって、近況の報告をしようと盛り上がっています。

お知らせ

● 高8期
日時：平成28年6月1日（水）
場所：青山ダイヤモンドホール
卒業60年を祝して盛大に開催いたします。

● 高10期
日時：平成27年11月10日（火）12：00 ～ 15：00
場所：ラグナヴェールTOKYO　会費：7,500円
幹事：田島　寛

● 高12期
日時：平成27年10月12日　16：30 ～
場所：中野サンプラザ　会費：7,000円
幹事：板橋　昭寿

● 高14期
日時：平成27年10月14日（水）14：00 ～
場所：第一イン池袋2Fレストラン「ピノ」　会費：8,000円
幹事：大串　康夫　090-9830-6711　ohkushi@ninus.ocn.ne.jp

● 高21期
日時：平成27年11月14日（土）15：00 ～
場所：吉祥寺第一ホテル　会費：1次会7,500円　2次会2,500円

● 高29期
日時：平成28年6月25日（土）17：00～19：30
場所：アルカディア市ヶ谷（私学会館）
問い合わせ先：大久保　靖　まで

■ 里山クラブ最初の一歩

　5月24日雨の予報が見事に外れ、五月晴れの朝、参加者12名が西武秩父駅に降り立ちました。いざ、札所めぐりへ。今回は第一番札所四萬部寺から四番金昌寺まで里山の懐かしい空気に触れながら、途中の急な下りの山道にもめげず…いや、少しめげながらも…青空の一日を楽しみました（写真）。
　HPに「西武秩父駅前からバスで20分少々で第一番札所四萬部寺につきました。バス停の前は古風な巡礼宿があり、スタートから札所めぐりの気分を高揚させてくれます。十数メートル歩いて山門下に到着し、もっと驚き、これぞ古刹の山門だ。ますます札所めぐりの気分が乗ってきました…」と綴る清水信さん（高9期）の里山クラブ日記を掲載しています。是非ご覧ください。

寄付・広告提供者一覧（敬称略・平成26年度納入分）

昨年度も多くの皆様に同窓会会費、寄付及び広告をご提供頂き、誠にありがとうございました。今年度もどうぞよろしくお願い致します。今回お名前を掲載しましたのは、次の方々です。

① 寄　付　者：平成26年度4月1日から平成27年3月31日までに寄付を頂いた方(終身会費を超えて振り込まれた金額は寄付として扱わせて頂きました)。

② 広告提供者：会報いずみ第59号に広告を掲載して頂いた方。

■ 会費納入のきまりは、

① 高校卒業後7年を経過した年度(※) から、満70歳を迎える年までで、今年度は高校57期の方から高校16期の方までが会費納入対象者です。(※平成26年度、27年度は経過措置あり)

② 会費は年千円ですが、過去の未納会費には遡及しません。今年度分から頂きます。複数年分の納入をお勧めします。

■ いずみ会を維持・発展させるためには、どうしても資金を必要とします。今後とも会費の納入・寄付のご協力をよろしくお願い致します。

ご質問・ご意見がございましたら、次の担当までご連絡ください。

会計部長　山口達夫(高20期)
e-Mail: izumikai@v7.com

寄付者一覧（寄付額千円単位）

【中01】北村達也（5）、栗山慶郎（2）、佐藤良矣（5）、中井敬（3）、羽鳥忠男（2）、樋田並照（1）、藤井宏（2）、【中02】中川邦好（2）、野村幸夫（1）、【中03】大竹恭麿（3）、【高02】高田保雄（5）、足立猛（3）、清水靖夫（5）、武見健三（5）、【高03】猪郷久義（3）、小川陽弘（1）、落合永二（1）、【高04】井口たつ子（3）、田原正顕（3）、塚田圭一（3）、林利根（2）、比嘉高（10）、平山久雄（2）、諸井勲治（3）、安井昇（1）、吉澤修（1）、【高05】大澤登（1）、尾崎雄三（2）、斉藤毅（1）、関口武男（30）、藤原良弘（3）、松岡五郎（3）、市川悦子（5）、大橋陽子（1）、岡本清子（2）、【高06】石井岱三（10）、大沢輝夫（1）、女屋敏正（3）、鴨田博伸（2）、小松亘（2）、佐藤東九男（2）、佐野弘太郎（1）、豊嶋志朗（2）、浜野章保（2）、原田清（1）、松本日出彦（1）、村井淳一（2）、柚原修（1）、矢島十三子（2）、【高07】宇野敏郎（3）、鎌倉正弘（5）、亀井静香（20）、関壮吉（2）、寺本殷昌（1）、大塚繁子（5）、児島有岐（1）、永池和子（1）、岩本英子（3）、【高08】林潤（3）、北村直子（3）、堤美穂子（5）、片山隆（5）、二宮靖子（7）、小川洋子（5）、武山誠子（1）、堀光成（10）、杉浦五十鈴（2）、加瀬照代（3）、【高09】木下駿介（10）、須藤一彦（5）、上村房子（2）、木暮京子（5）、樋口義弘（3）、石沢秀夫（3）、清水信（3）、古山宏（3）、柚原美智子（1）、篠崎勝（5）、吉田仁彦（1）、渡部邦雄（5）、染谷寿子（10）、【高10】阿部藤子（3）、野口悦子（5）、藍原寧（10）、金沢健蔵（3）、藤森とし子（3）、田所満一（1）、武藤正照（3）、鈴木京子（3）、【高11】柴田紀江（3）、高橋昌子（10）、廣瀬芳子（5）、島田きよみ（3）、匿名希望（5）、三浦和子（1）、【高12】中沢勲（3）、小宮良雄（5）、川原佳史子（5）、小野田敦子（1）、荻上寿美子（5）、【高13】青木泰男（10）、安達宏鎮（2）、早川淳（30）、高田勲（10）、関直樹（10）、田中昇次（5）、中本攻（10）、竹内浩子（3）、裏田和夫（5）、風祭一枝（2）、吉村文子（5）、柄澤建夫(10)、高津幸一(30)、百瀬武夫(3)、小川千枝子(10)【高14】渡部殷子（10）、山田和英（10）、高木登茂子（10）、大串康夫（5）、谷美恵子（3）、大江淳良（7）、【高15】中島直厚（4）、渡辺浩通（1）、平野侊代（9）、鬼澤隆幸（2）、杉山武彦（10）、【高16】橋元宏（3）、五味七重（8）、宮田誠（2）、【高17】宮武隆雄（7）、川上博司（2）、大津徳明（10）、堀江悠子（10）、【高18】寺島孝（10）、賀曽利隆（6）、今野悦子（1）、篠木光昭（10）、青木隆（10）、【高19】仲谷順（10）、荒井千代子（2）、国貞明良（1）、関口政利（5）、春山幸子（10）、北哲夫（1）、藤幡敏夫（6）、坪井千代子（1）、【高20】池上敏（4）、人見敬子（4）、手崎園子（2）、三上恵只（10）、山口達夫（5）、池田裕二郎（5）、【高21】岡和雄（3）、近藤秀人（3）、笹原則章（3）、原間裕（3）、笹原みどり（3）、有冨裕一郎（1）、【高22】阿野和隆（10）、山之内裕（10）、野村照美（3）、石井和雄（5）、藤田勝弘（1）、鈴木賢二（2）、木下初枝（2）、斎藤正義（20）、花澤亮司（5）、小林佐江子（2）、【高23】岩井博子（1）、篠原俊輔（1）、佐藤豊（1）、【高24】中野順造（5）、杉本幸枝（1）、遠藤淑恵（1）、【高25】吉富正尚（5）、高橋徹（1）、【高26】山本晃（1）、加藤尚子（3）、【高27】田村博之（1）、【高28】中垣内毅（5）、清水義裕（3）、清水由里（10）、【高29】麻生あつ子（11）、【高30】大坪由佳（1）、大島寛治（1）、【高31】櫻内靖浩（43）、関島勝巳（5）、矢崎千枝（1）、【高32】山村浩太郎（2）、仲沢浩一（1）、【高39】池内玲子（5）、【高40】熊崎義紀（1）、【高52】高裕之（5）、【高56】小見山太郎（3）、

広告掲載にご協力いただいた方

高 5 期		
高 8 期		
高 13 期	中本　功	中本法律事務所
高 14 期	高木　登茂子	高木自動車
高 14 期	神崎　隆洋	神崎建設会社
高 14 期		
高 15 期	久保田　繁	久保田産婦人科病院
高 16 期	鈴木　次夫	鈴木クリニック
高 21 期	上主　和孝	
高 25 期	宇多　正行	宇多法律事務所
	OB・OG 合唱団	

会報いずみの広告について

【掲載料金】

- 基本料金：1/10ページ　15,000円
- レイアウト料：お任せなら　無料
- レイアウト料：指定 1/10ページ　7,500円
- 地図作成：1件　7,500円

【申し込み先】いずみ会　荒井真理子
Fax：042-974-2045　Mail：marikohawfinch@ybb.ne.jp

声

★ 毎年野球の応援に行っているが弱くて“ガッカリ”。もっと練習しろ！いずみ会として、なんとか助けてやれ‼ ☆ 中高一貫校でソフト・ハードとも変わり驚いています ★ 長年会費を納めることなくきてしまいましたが、さすがに多少なりとは、と思うようになりました。会費をお納めいたします ☆ 高８期中澤弘生氏の「ラグビー仲間」懐かしく拝見しました。私も、裸足や古い下着のシャツなどで試合に出ていたことを思い起こしております ★ 新しいグラウンドは、サッカー部で土のコートで汗を流した時とは、比べものになりませんね。全国大会出場しなくては！ ☆ 事務職を退職してから40数年が経ちました。なつかしい思いでばかりです。 ★ 人工芝は好きじゃないけど見映えはする ☆ 大泉が再び中高一貫教育に帰ることに感慨一入です。（４期までは中高一貫でした）★ 58号掲載の鰐川君投稿をなつかしく拝読しました。本来彼は中２期の同期でした ☆ レッドアローから大泉の新校舎をながめ、感慨にひたっています ★ 昭和16年入学、20年卒の中１期です。戦時下の大泉中の状況、仲間の消息等、取材して知らせてくれたらうれしいね！ ☆ 都立高校の校長を３校やりましたが、卒業生に一番熱心な高校です。★ 卒業生名簿が選挙の立候補者に使われた件、種々のものを受け入れる寛容性があってもいいのでは（決定権は自分にある故）。自分や身内、友人が立候補したとしたら、いろいろなよしみを使いたくなるのは、ふつうではないでしょうか ☆ 中高一貫になり、高校の校歌はどうなったのでしょうか？ ★ 総会はいつも10月ですが、忙しい時期なので出席できません。たまには違う季節にできないでしょうか？ ☆ 会費の納入額がよく分かりません。5,000円払うと一生ＯＫということ？ ★ 私の職場には数名の卒業生がいます。昨年はＯＢ会をしました ☆ 立派な新校舎ができたのは大変喜ばしいことです。しかし一方で、昔懐かしい校舎が跡形もなくなったのはちょっとさみしい感じです ★ 先日は信州大学経済学部で池上彰特任教授の講義を受講しました（松本在住）☆ 平成９年当時の田中英道いずみ会会長と共に立ち上げた“いずみ会文庫”が会報にとりあげられていたことを喜ばしく思っています（元校長）★ スキーヤーの猪谷千春氏は私の村（今は市）の出身です。私は名山赤城山の中腹に住んでいます。86才元気です ☆ 事情あって途中で熊本へ転出した私ですが、思い出多いのは大泉中学校です ★ 私は30余年の世界各地放浪の末、今は千葉の山中に独居しております。ひとえに風の前の埃のごとき人生でありました。山中暦日なしといったところです。でき得れば、春秋の典を枕に紫煙の中に往生を望むところであります。

追悼　ご冥福をお祈りいたします

■先生方

教科	現姓	逝去日
校　長	菊地　芳男	H27.5.6
社　会	三戸　孝	H26.12.22
理　科	國谷　倉之	H24.1.4
美　術	市村　緑郎	H26.4.27

■会員訃報（敬称略）

期	現姓	逝去日
中学２期	高橋　通一	H25.9.7
中学２期	石井　泉	H25.4.11
中学３期	大竹　恭麿	H27.2.24
高校２期	米倉　温郎	H25.9.2
高校２期	大橋　俊太	H25.5.25
高校２期	浅見　弘孝	H25.7.9
高校２期	保戸塚啓文	H25.6.18
高校２期	高橋　宏	H25.6.9
高校３期	高橋　文彦	H27.5.26
高校３期	長谷川浩吉	H26.8.28
高校３期	清水　一郎	H25.5.15
高校４期	林　敏弘	H26.8.14
高校４期	唐沢喜三郎	H25.2.13
高校４期	浅見　文夫	H25.6.16
高校５期	内田　京子	H26.10.22
高校５期	河北アヤ子	H27.3.17
高校５期	落合　達郎	H26.11
高校５期	渡辺　治雄	H10.25
高校５期	功刀　昌子	H25.4
高校５期	佐藤　文美	H25.12
高校５期	高橋　達男	H26.2.28
高校５期	飯塚　弘蔵	H26.3
高校５期	堀口　武敬	H26.1.27
高校５期	斉藤　龍司	H25.9.6
高校５期	高杉　治朗	H25.7
高校６期	川上　厚	H27.7.18
高校６期	後藤　達	H26.8.28
高校６期	杉山　肇	H26.7.21
高校６期	大野　益郎	H26.3.12
高校６期	桜井　秀雄	H25.10
高校６期	仙田　正二	H26.3.13
高校６期	山口　利夫	H25.6.17
高校６期	高岡　敬	H25.7.23
高校６期	最勝寺真澄	H25.5.30
高校６期	平田　康浩	H25.9.5
高校６期	田中　省三	H25.6.29
高校６期	桐山　和雄	H25.1.19
高校６期	岡芹　繁夫	H25.3.3
高校６期	平田千枝子（浅沼）	H25.2.18
高校７期	宇野　敏郎	H26.9
高校７期	砂田　一郎	H26.6.19
高校７期	吉見　根子（町田）	H26.3.18
高校７期	志村　晴司	H25.7.23
高校８期	丸山　弟亮	H27.3.9
高校８期	横山三和子	H27.1.2
高校８期	小味山和子	H26.8.20
高校８期	関口　忠夫	H26.11.3
高校８期	長須　実	H24.10.6
高校８期	利田　一郎	H26.8.9
高校８期	横田　惇	H26.7.1
高校８期	小野　俊孝	H25.9.24
高校８期	吉田佐和子	H26.4.28
高校８期	中川　倫子	H26.2.7
高校９期	山下　嗣夫	H26.3.18
高校９期	向井　洋介	H25.11.12
高校10期	福住　幸三	H26.7.30
高校10期	塩澤美智子	H26.4.18
高校12期	林　迪義	H26.4.15
高校12期	星島恵美子（松本）	H25.8.25
高校13期	宮崎三枝子（石橋）	H26.11.13
高校13期	柄澤　建夫	H26
高校13期	並木　昭彦	H26.9.6
高校13期	栗原　敏男	H26.7.1
高校14期	五明　優機	H25.7.10
高校15期	西澤　敬一	H26.10.18
高校16期	鈴木　哲	H25.5.15
高校17期	田中真樹雄	H25.9.21
高校17期	大山美智子	H25.1
高校18期	伊丹　眞	H26.12.23
高校19期	牧野　憲一	H26.10.23
高校19期	松岡　英一	H25.1.30
高校21期	佐々木勝美	H25.8.9
高校21期	安原　清	H25.8.8
高校22期	肥沼　年光	H27.4.19
高校22期	木前　利秋	H25.12.4
高校23期	鈴木　徹	H22.7.5
高校23期	藤本　敏雄	H25.4. 1
高校25期	北浦　幹也	H26.3.8
高校31期	石田　文子	H26.6.10
高校31期	太田　毅	H24.10.14
高校32期	嶋　康子（青山）	H25.3.4

いずみ会創立70周年記念名簿発行

会員情報部長　成田　俊彦

70周年記念名簿発行にあたり、皆様のお手元には既に住所等登録確認とご購入のご案内状が届いていると存じます。現在までに多くの登録確認のご返信を頂戴しており、感謝いたします。同時にまだ確認ハガキのご返信がお済みでない方には、登録内容をご確認の上、かならず意思表示をご返信いただきますようお願い申し上げます。(未確認の方へは調査往復ハガキが、9月・11月にも発送されますので注意しておいてください)

名簿の内容は、母校の74年の歩みと今、いずみ会の歩みと現在の活動、恩師の思い出、近況、10月開催の70周年記念式典等の記事、写真が満載の第一部、いずみ会の土台を成す会員名簿、後半にはクラブOB・OG会窓口、会員情報部員一覧などでございます。

今回の名簿発行はプライバシーマーク取得のデータ整備専門会社(株)サラトに名簿の作成を委託することにいたしました。当然ながら、会員名簿データはいずみ会が所有し、管理する事に変わりはございません。なお、(株)サラトは同窓会名簿では、都内はもとより全国的に40年にわたり多数の実績を持っています。ご協力のほどよろしくお願いいたします。

【確認のための問い合わせ先】

(株)サラト　**TEL　0120−989−370**

学校番号　160110　を伝えてから

期、クラス、お名前を

人材バンク部からのお願い

人材バンク部長　山川　新

現在人材バンク部では母校への教育支援(高校生キャリア教育社会人講話・中学生職業ワークショップ・中2生への英語特別講座等の講師派遣)を目的として、いずみ会会員の皆様の特技、資格、社会的経験、趣味、協力できる事等、幅広く人材の登録を頂いております。また、将来的には会員相互のボランティア活動を中心とした会員間サービス情報も提供したいと考えています。これを機に是非人材バンクに人材情報の登録をお願いいたします。

登録は会報発送時に同封のされた返信ハガキ裏面に登録内容を記入していただくことで行います。人材バンクに登録いただいた情報は、登録後1年間のみの使用とさせていただきます。従いまして同様の情報で内容に変更がなくても毎年の登録が必要となります。毎年の登録をよろしくお願いいたします。

登録いただいた情報は、活躍できるジャンル別にまとめてそのジャンルの登録者数をホームページ上に掲載させていただきます。この情報を参考に自分でも登録できそうな特技、趣味等ございましたら積極的に登録していただけると幸いです。

サークル活動一覧

★**古典文学講座**：毎月第4木曜日　10：00〜12：00　欅さろん
講師　大軒史子さん(高9期)

★**英語講座**：毎月第2火曜日　10：00〜12：00
勤労福祉会館・いずみ会室　講師　廣瀬芳子さん(高11期)

★**囲碁**：毎月第3水曜日　13：00〜17：00　いずみ会室
代表　田島　寛さん(高10期)

★**健康麻雀教室**：毎月第1・第3火曜日　11：30〜17：00
いずみ会室　代表　笠原孝之さん(高13期)

・**健康麻雀教室レディース**：毎月第2・第4金曜日
12：00〜17：00　いずみ会室

★**茶道教室〜茶の湯〜**：毎月第2月曜日・第4木曜日
14：00〜16：00　欅さろん
講師　本道操子さん(高7期)

★**まんぼ会**：奇数月(原則)に開催。
代表　大髙光蔵さん(高13期)

★**里山クラブ**：随時
代表　石田要久さん(高5期)

総務・企画部よりお知らせ

●同期会を開きませんか?

期幹事の皆様、いずみ会では同期会開催のお手伝いとして、宛名ラベル・名札の作成、名札入れのご用意、お知らせの会報・webページ掲載、校歌、校友の歌のメディア貸し出し等のサービスを提供しております。さらに初めて同期会を開かれる期には、初回の郵送料の一部を負担するサービスも開始いたします。詳しくはいずみ会連絡窓口までお問い合わせください。

●来年は「6の会」

期の一の位が「6」の皆様、来年度の母校文化祭、総会・懇親会でご活躍いただくことになります。本年10月24日(土)のいずみ会総会懇親会へ是非ご参加いただき、様子をご覧いただき、「6の会」へのご準備をお願いいたします。

いずみ会連絡窓口

ご意見、ご感想、住所変更、いずみ会室利用申込み、サークル問い合わせ等いずみ会へのご連絡は下記までお願いいたします。

〒178-0063
練馬区東大泉6−34−30　SKビル305号
e-Mail：izumikai@v7.com　FAX：03−3925−1486
総務・企画部長　荒井眞理子(高20期)

編集後記

★ 多くの方に支えられ、会報を創る楽しさを実感しました。いずみ会を身近に感じて頂けたらうれしいです。★「牛に引かれて善光寺参り」ならぬ「荒井さんに引かれて編集委員」ですが、70周年という事で編集作業中に昔の写真をたくさん見る事が出来ました。皆さんもお楽しみください。★ 会報作りに参加して、幅広く多くの方とお話しでき、知り合うことができました。素晴らしい、意義ある20年。そして10代の3年間。たくさんの宝物を頂いた大泉に感謝!会員の皆様も70年の節目を機に、大泉から始まった思い出を辿ってみませんか?最後に59号へ記事をお寄せ下さった皆様、ありがとうございました。★ 今号は、特集「私と大泉」を中心に構成し、懐かしい写真も入れました。如何でしょうか。

編集委員

二宮靖子(高8期)・森田陸四郎(高15期)・小林憲一(高20期)
荒井眞理子(高20期)・植村久(高21期)

10月24日（土）いずみ会70周年記念総会・懇親会ご案内

今年は練馬で
「自主創造70年を祝う」

と　き　　2015年10月24日（土）14時～18時15分（13時30分　受付開始）
ところ　　練馬区立区民・産業プラザ3階　ココネリホール（練馬区練馬1-17-1　練馬駅北口北西側すぐ）
会　費　　ひとり3,000円（ただし61期～67期はひとり1,000円）
＊ご出欠は9月半ばに発送されます会報同封のハガキにて期日までにご返送ください。
＊会場はバリアフリーです。

キャッチフレーズにありますように、母校は自主創造だけでなく、文武両道も目指し長年の伝統を引き継いできました。今、母校の関連工事もすべて終了し、正門からの道も復活。懐かしい気持ちで校内に足を踏み入れられるようになりました。また、中高一貫校となって今年度の高校3年生は初めての卒業生となります。校章も新たなものとなりました。しかし、大泉の理念に大きな変化はありません。

いずみ会70周年記念式典において、校歌・校友の歌を歌えばすぐさま気持ちもあの頃に帰ることでしょう。そして自主創造・文武両道の伝統も思い返していただけることでしょう。

皆様お誘い合わせて練馬にご集合ください。懇親会後の同期会の企画も歓迎いたします。

新しくなった母校の校門と空撮写真

いずみ会会長　　髙津　幸一（高13期）
70周年記念式典実行委員長　石川　文武（高15期）

いずみ会70周年記念名簿

☆70周年記念名簿のご購入申し込みを!!

同窓生が名簿により連絡しあい、時に集い、寄り添い語り合うことは今後の人生を豊かなものにしてくれる大変意義深いことです。一冊の名簿が「大泉」という輪を広げる一助となればこんな嬉しいことはありません。新たに広がる人間関係の輪の拠り所に「いずみ会」があればとの思いで臨みます。どうぞ名簿作成にご協力いただき、是非一冊！お手元に置いて下さい。

☆登録事項の確認はお済ですか?!　確認事項問い合わせ等詳細は19面をご覧下さい。